



デザコン 2011 in 北海道

ひらく

「デザコン2011 in北海道」では、先人達の知恵や努力によって築かれた豊かな生活を次の将来に受け渡すために、新しい発想によってさまざまなことに向かって「ひらく」ことを考えていきたいと思えます。

北海道は「フロンティアスピリット(開拓魂)」の代名詞ともなっているように、本州からの多くの移住者によって開拓された土地であります。開拓という二文字はともに「ひらく」と読むことが出来、この「ひらく」という言葉には様々な意味を持たせることが出来ます。

「可能性をひらく」、「地域にひらく」、「関係をひらく」、「分野をひらく」など、「ひらく」という言葉は、常に前進するイメージとしてとらえることが出来ます。北海道開催にあたり、次の将来に向けて夢と希望が「ひらく」ことを期待するとともに、デザコンのさらなる前進と新しさへの挑戦の願いも込めて「ひらく」をテーマとし、斬新で挑戦的な提案を募集します。

部門別テーマ

【構造デザイン部門】 (担当校: 函館高専)

片持構造物の強度コンテスト

私達の暮らしを支える構造物には、片持式の梁やスラブ、擁壁など片持(canti-lever)構造物がたくさんあります。また、橋のように工事の時のみ片持梁となる場合(片持式架設工法、送り出し架設工法等)もあります。本競技では、耐荷性能とデザインに優れた片持構造物のアイデアを募集します。

【環境デザイン部門】 (担当校: 釧路高専)

地場産材を用いたセルフビルドハウス

本競技部門では、住宅の最もプリミティブな形を再発見し、地球環境時代や成熟社会における新しい住宅のあり方を「ひらく」ため、地場産材を用いて作るセルフビルドハウスの提案を募集します。本選においては、実際の材料を用いた模型を用いて、そのデザイン、材料、製作方法、温熱環境等を評価します。

【空間デザイン部門】 (担当校: 釧路高専)

地域に開かれたサテライトキャンパス

空間部門では、私たち高等専門学校と地域との垣根を「ひらく」サテライトキャンパスのアイデアを募集します。場所は特に問いませんが、従来の大学・大学院にみられるような既存のイメージを取り払い、高専と地域との強い結びつきを大切にしたい、新しい空間づくりとプログラムの提案を募集します。

【ものづくり部門】 (担当校: 苫小牧高専)

紙でつくる楽器

ものづくり部門では、むかし先人たちが身近な材料を使って音を出すことからはじめた楽器に着目し、われわれの最も身近な材料である紙を主な素材として、打楽器、弦楽器、管楽器等の楽器を作り、紙の新たな創作を「ひらく」ような、そしてみんなで楽しく演奏できる「紙でつくる楽器」に関するアイデアを募集します。

<主催>
高等専門学校連合会

<担当校>
主管校: 釧路工業高等専門学校
協力校: 旭川工業高等専門学校
苫小牧工業高等専門学校
函館工業高等専門学校

<開催地>
北海道釧路市

<日程概要>
○実施要項・募集要項の公開
2011年4月上旬

○予選
・作品受付 2011年9月上旬
・予選審査 2011年9月中旬
・予選結果発表 2011年9月下旬

○本選
2011年11月12日(土)~13日(日)

<本選会場>
釧路観光国際交流センター

<お問い合わせ>
釧路工業高等専門学校
学生課学生支援係
TEL: 0154-57-7224
FAX: 0154-57-6256

